

北海道農業体験バスツアー

平成29年度地域の魅力再発見食育推進事業(食育事例)
事業実施主体:株式会社農協観光 北海道統括事業部(北海道)

○ 株式会社農協観光 北海道統括事業部では、日頃農業と親しむ機会の少ない消費者と生産者の交流を深め、食と農業への理解を高めることを目的として、気軽に参加することのできる「農業体験バスツアー」を多数開催している。受入先の農家や参加者層に合わせた多彩なプログラムを用意しており、厳冬も含め年間を通して開催。農産物の収穫などの体験とともに調理加工体験や食育講座を行い、農産物に関する知識だけでなく、農村、自然環境、食文化の魅力を再発見することのできる場となっている。



北海道

【取組の内容(一例)】

- バス車中での食育クイズ
行き帰りのバス内でも、ほ場での行動の注意点を含め、生産から消費までの一連の内容について、食育クイズを展開。
- 農業体験
北海道ならではの各種農産物について、生産者等と交流しながら農作業を体験。(ハスカップ、メロン、ブロッコリー、じゃがいも、とうもろこし、菌床しいたけ、ブルーベリー、落花生、米、長いも、知床にんじん、寒締めほうれん草、雪割りなばな、冬の完熟イチゴ、赤カブなど)



- 調理加工体験、食育講座
ハスカップジャム・ハスカップ寿司作り、うにの殻向き、米麴作り、イクラの醤油漬け、長いも料理、そば打ち、三平汁など



【取組の成果】

- 生産者等から直接、農産物の魅力を学び、生産者と消費者の交流を深めることで、食や農林水産業に対する理解を深める機会となった。
また、北海道ならではの自然環境の中で行う農作業やそこで育まれる農産物(特産物)の価値の再発見を促し、消費者の北海道農業への理解・意識の向上を図った。
- 調理加工体験では、農業体験で収穫した食材を使用した料理やその地元ならではの料理、北海道の伝統食・行事食を味わい、教わることで、食への関心や次の世代へ受け継いでいくための知識を更に高める場とし、「食育」の浸透を進めた。



※計41回実施、ツアー参加者数延べ1,137名